

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2018年10月10日	
信託期間	2018年10月10日から2029年9月25日	
運用方針	「UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド(J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド(適格機関投資家向け)を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド(J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド(適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP(コマーシャル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがロックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④デリバティブの直接利用は行いません。</p> <p>⑤外貨建資産への直接投資は行いません。</p> <p>⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	<p>毎決算時(毎年3月25日、6月25日、9月25日および12月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、計算期末の前営業日時点の基準価額水準、市況動向等を勘案して委託者が決定します。なお、基準価額水準が1万円(1万円当たり)を超えている場合には、上記①の範囲内で分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

UBS中国A株ファンド (年4回決算型)

愛称：桃源郷・年4

運用報告書(全体版)(第2作成期)

第3期 決算日 2019年6月25日

第4期 決算日 2019年9月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド(年4回決算型)」は、去る9月25日に第4期の決算を行いましたので、第3期～第4期(第2作成期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2019. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

* 設定以来の運用実績 *

作成期	決算期（決算日）	基準価額 (分配落)	税金		騰落率	投資信託 証券組入比率	純資産 総額
			込	み			
第1作成期	(設定日) 2018年10月10日	円 10,000	円 —	—	% —	% —	百万円 0.1
	1期（2018年12月25日）	8,864	0	△11.4	97.9	290	
	2期（2019年3月25日）	10,929	600	30.1	97.3	658	
第2作成期	3期（2019年6月25日）	10,830	400	2.8	97.5	1,684	
	4期（2019年9月25日）	10,763	300	2.2	94.4	1,979	

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注5) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ）

* 当作成期中の基準価額等の推移 *

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落	率	
第3期	(期首) 2019年3月25日	円 10,929		% —	% 97.3
	3月末	10,967		0.3	98.1
	4月末	11,951		9.4	105.6
	5月末	10,833		△0.9	99.4
	(期末) 2019年6月25日	11,230		2.8	97.5
第4期	(期首) 2019年6月25日	10,830		—	97.5
	6月末	10,911		0.7	101.6
	7月末	11,013		1.7	97.8
	8月末	10,637		△1.8	99.0
	(期末) 2019年9月25日	11,063		2.2	94.4

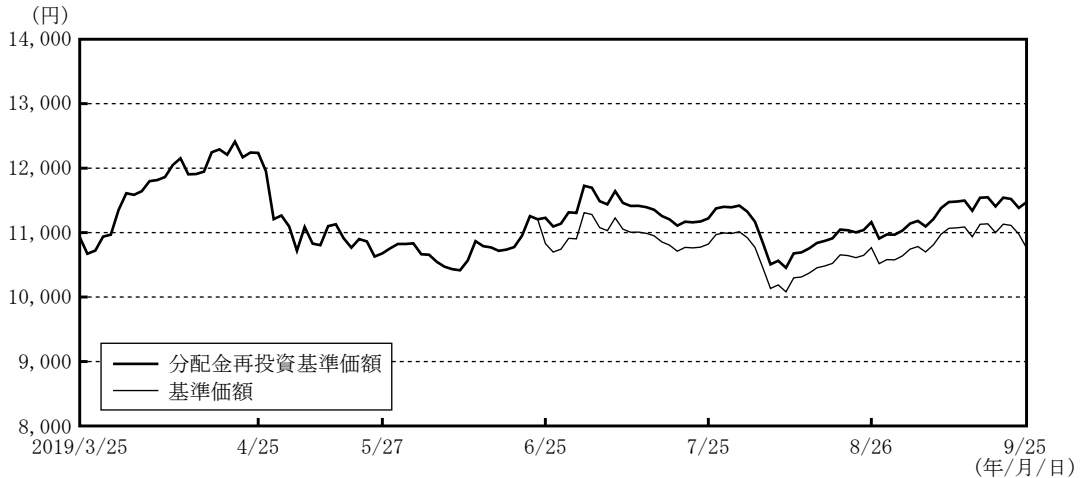
(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 期末の基準価額の騰落率は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

* 当作成期の運用状況 *

＜当作成期の基準価額等の推移＞
 (2019年3月25日～2019年9月25日)



※分配金再投資基準価額は、当作成期中に支払われたファンドの分配金（1万円当たり、税引前）でファンドを購入（再投資）した場合の価額です。

※分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

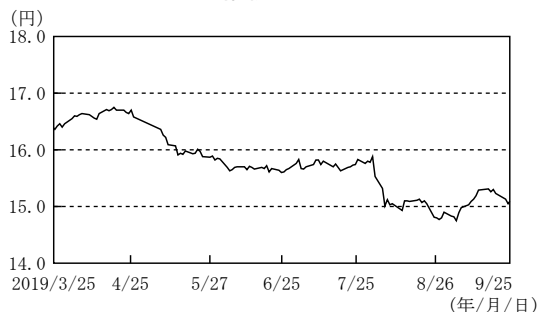
- 既払分配金700円（税引前）を加算した基準価額の値上がりは534円となりました。なお、基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は+5.0%となりました。

投資環境について

- 当作成期の中国株式市場はやや上昇しました。

中国政府の経済支援策や米中通商交渉進展への期待感などを背景に中国株式市場は作成期初から上昇しました。ところが、2019年5月にトランプ米大統領が中国製品に対する追加関税の発動を示唆し、中国の通信機器大手メーカーへの事実上の禁輸措置を講じるなど、対中強硬姿勢を強めたことを受けて米中貿易摩擦の激化懸念が再燃し、中国株式市場は急落しました。その後は、中国政府による景気対策への期待感などを材料として、一時反発しましたが、8月にトランプ米大統領が対中追加関税第4弾の発動を表明したことなどが嫌気されて上値の限られる展開となり、結局は前作成期末を若干上回る水準で当作成期末を迎えました。

■人民元／円レートの推移



運用経過

<当ファンドのポートフォリオについて>

■UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) およびUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、期を通じてUBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) への投資割合は90%以上を維持しました。

<UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) のポートフォリオについて>

■上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

○期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

素材では、業界トップクラスの収益性と優れたガバナンスを評価する、MDI*で世界シェア首位の化学メーカー、万華化学集団〔ワンファ・ケミカル・グループ〕のポジション積み増しにより、セクターウェイトを大きく引き上げました。

* ポリウレタン的一种。用途は自動車用部品や衣類、断熱材、絶縁体、スマホケースなど幅広い。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

その一方、情報技術では、大手通信メーカーの華為技術〔ファーウェイ〕に対する米製品の実質的な禁輸措置発動を受け、同様の制裁対象となることが懸念された監視カメラメーカー世界首位の杭州海康威視数字技術〔ハンジョウ・ハイクビジョン〕を全売却し、セクターウェイトを大幅に引き下げています。

※業種はGICS分類に準拠しています。

<UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて>

■マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

<基準価額の主な変動要因>

■当作成期の基準価額は、実質組入株式の株価上昇などのプラス要因が、為替変動（円高・人民元安）などのマイナス要因を上回ったことにより値上がりしました。

<ベンチマークとの差異について>

■当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

■当作成期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、第3期は1万口当たり400円（税引前）、第4期は1万口当たり300円（税引前）といたしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項 目	第3期	第4期
	2019年3月26日～ 2019年6月25日	2019年6月26日～ 2019年9月25日
当期分配金	400円	300円
（対基準価額比率）	(3.562%)	(2.712%)
当期の収益	36円	137円
当期の収益以外	363円	162円
翌期繰越分配対象額	830円	763円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

■これまで米中通商協議で数多くみられたように、株式市場に対する懸念についても今後多くのノイズ（短期的には耳目を集めるものの本質的な影響はさほど伴わないニュース）が出てくると予想します。米中関係の決定的な断絶は、双方にとりあまりにも代償が大きい選択であると捉えています。

現在のこうした市場環境下では、質の高い企業を見出すことの重要性がより一層高まっていると考えています。引き続き、多くの中国企業に長期的な投資機会があると思われます。また、中国株式の現在のバリュエーションは過去の水準や他のアジア諸国の株式と比較しても、依然として魅力的な水準にあると捉えています。

当ファンドでは、国内消費の恩恵の享受が見込まれる銘柄を中心に保有しています。具体的には、消費関連や高付加価値商品の市場拡大、サービス業および消費主導への経済構造の転換、企業の研究開発費の増大やそれがもたらす技術革新、サービス業では今後中国国内での広がりが見込まれることから、これらの企業は長期的な投資妙味の観点で引き続き良好であると思われます。

<当ファンドの今後の運用方針>

■UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の投資比率を高位に維持する方針です。

<UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の今後の運用方針>

■銘柄選択を重視しており、比較的外部環境要因の影響を受けにくく業界のリーダーとなり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

<UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針>

■マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	第3期～第4期 2019/3/26～2019/9/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	68円	0.614%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,052円です。
（投信会社）	(18)	(0.163)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(48)	(0.434)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の 情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.039	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(3)	(0.029)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	72	0.653	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 期中の売買および取引の状況 *（自 2019年3月26日 至 2019年9月25日）
投資信託証券

		第 3 期 ～ 第 4 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	口	千円	口	千円
		28,453	1,380,000	4,345	210,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

* 利害関係人等との取引状況等 *（自 2019年3月26日 至 2019年9月25日）

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

* 組入資産の明細 *（2019年9月25日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第1作成期末	第2作成期末（第4期末）		
	口数	口数	評価額	比率
	口	口	千円	%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	12,016	12,016	11	0.0
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	13,754	37,863	1,869,334	94.4
合計	25,770	49,879	1,869,346	94.4

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

* 投資信託財産の構成 *

（2019年9月25日現在）

項目	第2作成期末（第4期末）	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	11	0.0
投資証券	1,869,334	90.2
コール・ローン等、その他	202,747	9.8
投資信託財産総額	2,072,092	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2019年6月25日) (2019年9月25日)

項目	第3期末	第4期末
(A) 資産	1,750,571,627円	2,072,092,312円
コール・ローン等	108,836,672	102,745,960
投資信託受益証券(評価額)	11,985	11,982
投資証券(評価額)	1,641,722,970	1,869,334,370
未収入金	—	100,000,000
(B) 負債	66,315,693	92,514,562
未払収益分配金	62,206,919	55,177,118
未払解約金	—	31,098,265
未払信託報酬	3,897,007	5,853,293
未払利息	307	289
その他未払費用	211,460	385,597
(C) 純資産総額(A-B)	1,684,255,934	1,979,577,750
元本	1,555,172,999	1,839,237,281
次期繰越損益金	129,082,935	140,340,469
(D) 受益権総口数	1,555,172,999口	1,839,237,281口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,830円	10,763円

(注1) 当ファンドの第3期首元本額は602,960,420円、第3~4期中追加設定元本額は1,302,996,659円、第3~4期中一部解約元本額は66,719,798円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第3期1.0830円、第4期1.0763円です。

* 損益の状況 *

第3期(自2019年3月26日 至2019年6月25日)
第4期(自2019年6月26日 至2019年9月25日)

項目	第3期	第4期
(A) 配当等収益	△ 9,365円	△ 11,300円
支払利息	△ 9,365	△ 11,300
(B) 有価証券売買損益	9,744,606	47,278,236
売買益	13,209,714	47,825,620
売買損	△ 3,465,108	△ 547,384
(C) 信託報酬等	△ 4,108,467	△ 6,238,890
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,626,774	41,028,046
(E) 前期繰越損益金	12,941,960	△ 7,727
(F) 追加信託差損益金	172,721,120	154,497,268
(配当等相当額)	(21,181,662)	(△ 618)
(売買損益相当額)	(151,539,458)	(154,497,886)
(G) 計(D+E+F)	191,289,854	195,517,587
(H) 収益分配金	△ 62,206,919	△ 55,177,118
次期繰越損益金(G+H)	129,082,935	140,340,469
追加信託差損益金	129,092,297	124,635,411
(配当等相当額)	(—)	(△ 618)
(売買損益相当額)	(129,092,297)	(124,636,029)
分配準備積立金	3	15,716,358
繰越損益金	△ 9,365	△ 11,300

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第3期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(5,631,269円)、信託約款に規定する収益調整金(172,711,755円)および分配準備積立金(12,946,830円)より分配対象収益は191,289,854円(10,000口当たり1,230円)であり、うち62,206,919円(10,000口当たり400円)を分配金額としております。

(注5) 第4期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(41,030,218円)、信託約款に規定する収益調整金(154,486,586円)および分配準備積立金(1,401円)より分配対象収益は195,518,205円(10,000口当たり1,063円)であり、うち55,177,118円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。

* 分配金のお知らせ *

		1万口当たり分配金
第 3 期		400円
第 4 期		300円

- ◇分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合
お手持り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇分配金の区分について
- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。
分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ◇税金について
分配金は普通分配金に課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。

UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

<参考情報>

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年4回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。

ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2019年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。

包括利益計算書

2019年2月28日に終了する会計期間
米ドル

収益	
受取利息	7,058
受取配当金	1,080,599
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	(4,469,758)
為替取引に係る収益（損失）	(543,250)
収益合計	(3,925,351)
費用	
運用管理報酬	657,254
保管事務費用	44,765
監査報酬	24,600
役員報酬	15,500
専門家費用	12,718
取引費用	103,076
その他営業費用	3,886
営業費用合計	861,799
税引前営業利益（損失）	(4,787,150)
配当金に係る源泉税	(109,431)
税引後営業利益（損失）	(4,896,581)
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	(4,896,581)

2019年2月28日現在の投資有価証券明細表（未監査）

	銘柄名	数量	簿価（米ドル）	時価（米ドル）
株式				
中国元				
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	582,586	3,109,936.86	6,264,834.05
	FUYAO GROUP GLASS INDUSTRIES CO LTD A SHS ORD CNY1	391,600	1,289,861.12	1,420,283.57
	WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	94,200	550,550.87	575,805.99
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	54,090	3,235,821.74	6,107,877.58
	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA A SHS ORD CNY1	288,500	231,746.63	248,104.31
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	51,700	487,373.31	541,341.42
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	226,486	2,583,158.48	2,881,970.16
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	40,500	258,628.07	277,058.72
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	10,300	58,721.64	69,013.79
	LUZHOU LAOJIAO CO LTD A SHS ORD CNY1	38,472	415,890.71	294,831.93
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	84,900	789,971.53	907,892.37
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	463,182	3,061,014.71	3,168,607.68
	WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	229,800	1,122,288.92	1,404,673.21
	HANGZHOU HIKVISION DIGITAL TECHNOLOGY CO LTD A SHS ORD CNY1	754,594	2,604,583.41	3,893,615.66
	BEIJING VANTONE REAL ESTATE CO ORD CNY1	1,245,003	672,137.10	744,819.48
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	287,674	1,189,892.82	1,365,614.67
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	575,289	4,159,684.69	6,023,747.83
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	1,167,195	3,924,111.34	5,540,780.90
	ZHENGZHOU YUTONG BUS CO LTD A SHS	618,931	2,339,541.90	1,303,363.41
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	466,216	3,701,679.92	4,985,558.91
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	631,467	3,868,757.61	4,512,502.35
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	146,000	227,318.98	269,893.21
	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA A SHS ORD CNY1	3,968,331	3,329,868.26	3,412,686.32
	JOINTOWN PHARMACEUTICAL-A SHRS ORD CNY1	503,388	1,350,814.45	1,162,440.66
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	105,800	1,172,422.87	1,346,275.02
	BEIJING VANTONE REAL ESTATE CO ORD CNY1	1,348,346	705,031.96	806,644.13
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	712,744	1,940,409.61	4,775,647.05
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	6,100	505,745.22	688,815.92
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	1,521,021	2,608,377.19	2,811,734.54
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	57,100	480,375.25	614,024.41
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	9,747	56,792.07	69,652.67
	中国元合計		52,032,509.24	68,490,111.92
	株式合計		52,032,509.24	68,490,111.92
総合計			52,032,509.24	68,490,111.92

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

<参考情報>

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年4回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。
ご参考として第10期決算日（2019年1月21日）の運用状況をご報告申し上げます。

<UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）>

* 最近5期の運用実績 *

決 算 期	基 準 価 額	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
6 期 (2015年1月20日)	円 10,025	円 0	% △0.0	% —	% —	百万円 892
7 期 (2016年1月20日)	10,021	0	△0.0	—	—	608
8 期 (2017年1月20日)	10,010	0	△0.1	—	—	40
9 期 (2018年1月22日)	9,997	0	△0.1	—	—	40
10期 (2019年1月21日)	9,982	0	△0.2	—	—	40

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

* 当期中の基準価額と市況等の推移 *

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2018年 1月22日	円 9,997	% —	% —	% —
1月末	9,996	△0.0	—	—
2月末	9,995	△0.0	—	—
3月末	9,994	△0.0	—	—
4月末	9,993	△0.0	—	—
5月末	9,991	△0.1	—	—
6月末	9,990	△0.1	—	—
7月末	9,989	△0.1	—	—
8月末	9,988	△0.1	—	—
9月末	9,987	△0.1	—	—
10月末	9,985	△0.1	—	—
11月末	9,984	△0.1	—	—
12月末	9,983	△0.1	—	—
(期 末) 2019年 1月21日	9,982	△0.2	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第10期	
	2018年1月23日～2019年1月21日	
当期分配金	－円	
(対基準価額比率)	(－%)	
当期の収益	－円	
当期の収益以外	－円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期		項目の概要
	2018/1/23～2019/1/21		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.043%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,989円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.031)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.045	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 * (自 2018年1月23日 至 2019年1月21日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千口 109	千円 110	千口 109	千円 110

(注) 単位未満は切り捨て。

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2018年1月23日 至 2019年1月21日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

* 組入資産の明細 *

親投資信託残高

(2019年1月21日現在)

項 目	期 首		当 期		末 評 価 額
	口 数	金 額	口 数	金 額	
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千口 40,594	千円 40,594	千口 40,594	千円 40,695	

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 投資信託財産の構成 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 40,695	% 99.9
コール・ローン等、その他	22	0.1
投資信託財産総額	40,717	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,717,359円
コール・ローン等	21,789
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	40,695,570
(B) 負 債	9,123
未払信託報酬	8,737
その他未払費用	386
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	40,708,236
元 本	40,780,207
次期繰越損益金	△ 71,971
(D) 受 益 権 総 口 数	40,780,207口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,982円

* 損益の状況 *

(自2018年1月23日 至2019年1月21日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 40,555円
売 買 益	50
売 買 損	△ 40,605
(B) 信 託 報 酬 等	△ 18,242
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 58,797
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 28,435
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	15,261
(配 当 等 相 当 額)	(19,026)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,765)
(F) 計 (C+D+E)	△ 71,971
(G) 收 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△ 71,971
追 加 信 託 差 損 益 金	15,261
(配 当 等 相 当 額)	(19,017)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,756)
分 配 準 備 積 立 金	287,628
繰 越 損 益 金	△374,860

[元本増減]

期首元本額	40,756,237円
期中追加設定元本額	123,572円
期中一部解約元本額	99,602円
1口当たり純資産額	0.9982円

純資産総額が元本を下回っており、その差額は71,971円です。

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,017円)および分配準備積立金(287,628円)より分配対象収益は306,645円(10,000口当たり75円)ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

<参考情報>

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第10期決算日（2019年1月21日）の運用状況をご報告申し上げます。

<UBS短期円金利プラス・マザーファンド>

* 最近5期の運用実績 *

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
		騰 落 率	比	比	総 額
6 期 (2015年1月20日)	円 10,050	% 0.0	% —	% —	百万円 892
7 期 (2016年1月20日)	10,051	0.0	—	—	608
8 期 (2017年1月20日)	10,044	△0.1	—	—	40
9 期 (2018年1月22日)	10,035	△0.1	—	—	40
10期 (2019年1月21日)	10,025	△0.1	—	—	40

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

* 当期中の基準価額と市況等の推移 *

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率	比	比
(期 首) 2018年 1月22日	円 10,035	% —	% —	% —
1月末	10,034	△0.0	—	—
2月末	10,034	△0.0	—	—
3月末	10,033	△0.0	—	—
4月末	10,032	△0.0	—	—
5月末	10,031	△0.0	—	—
6月末	10,030	△0.0	—	—
7月末	10,030	△0.0	—	—
8月末	10,029	△0.1	—	—
9月末	10,028	△0.1	—	—
10月末	10,027	△0.1	—	—
11月末	10,026	△0.1	—	—
12月末	10,025	△0.1	—	—
(期 末) 2019年 1月21日	10,025	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

*** 1万口当たりの費用明細 ***

該当事項はありません。

*** 期中の売買及び取引の状況 ***（自 2018年1月23日 至 2019年1月21日）

該当事項はありません。

*** 主要な売買銘柄 ***（自 2018年1月23日 至 2019年1月21日）

該当事項はありません。

*** 利害関係人等との取引状況等 ***（自 2018年1月23日 至 2019年1月21日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

（注）利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

*** 組入資産明細表 ***（2019年1月21日現在）

2019年1月21日現在、有価証券等の組入はありません。

* 投資信託財産の構成 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 40,694	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	40,694	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2019年1月21日現在)

* 損益の状況 *

(自2018年1月23日 至2019年1月21日)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,694,552円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	40,694,552
(B) 負 債	114
未 払 利 息	114
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	40,694,438
元 本	40,594,085
次 期 繰 越 損 益 金	100,353
(D) 受 益 権 総 口 数	40,594,085口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,025円

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 40,133円
支 払 利 息	△ 40,133
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 40,133
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	140,437
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	367
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 318
(F) 計 (B+C+D+E)	100,353
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	100,353

[元本増減]

期首元本額	40,594,134円
期中追加設定元本額	109,633円
期中一部解約元本額	109,682円
1口当たり純資産額	1.0025円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	40,594,085円
-----------------------------	-------------

(注1) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。